

# シンポジウム

5月27日(金)

## シンポジウム1

### 脳腫瘍の surrogate marker

8:45~10:00 A会場(川越プリンスホテル 3F ダイヤモンド・エメラルド)

座長： 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 竹島 秀雄  
新潟大学脳研究所 病理学分野 柿田 明美

「Astrocytoma, IDH-mutantにおけるMTAP染色性と臨床経過、  
Methionine PETとの関連」

東京医科歯科大学 脳神経外科 山村 俊弘

「松果体実質腫瘍の病理学的診断における増殖マーカー指数とKBTBD4変異の役割」

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科/  
国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野 内田 栄太

「中枢神経胚細胞腫における腫瘍マーカーの役割と限界」

東京大学医学部附属病院 脳神経外科/  
Department of Neurologic Surgery, Mayo Clinic 高見 浩数

「膠芽腫病勢診断血液バイオマーカー同定の試み」

金沢大学 脳神経外科 中田 光俊

「中枢神経系リンパ腫のサロゲートマーカーとしての髄液中MYD88変異検出の意義」

杏林大学医学部 脳神経外科学/順天堂大学 脳疾患連携分野研究講座 山岸 夢希

「グリオーマおよび中枢神経悪性リンパ腫患者の髄液中炎症性マーカーの比較検討」

神戸大学医学部 脳神経外科 篠山 隆司

「がんゲノム医療からみた悪性脳腫瘍治療の現状と展望」

浜松医科大学 脳神経外科 小泉慎一郎

## シンポジウム2

### 脳腫瘍の統合診断と中央診断（脳腫瘍病理診断体制の強化に向けて）

#### 指定討論

14:00～15:20 A会場（川越プリンスホテル 3F ダイヤモンド・エメラルド）

座長： 杏林大学医学部 脳神経外科学教室 永根 基雄  
東京都立神経病院 検査科 小森 隆司

「脳神経外科医のニーズに応える病理診断を目指して」

弘前大学大学院医学研究科 病理診断学講座 黒瀬 顕

「統合診断：一般病理医の立場から」

東京医科歯科大学医歯学総合研究科 人体病理学分野 大橋 健一

「脳腫瘍コンサルテーション診断」

群馬大学医学部 病態病理学 横尾 英明

「JCCG臨床研究における脳腫瘍の中央病理診断」

公立富岡総合病院 病理診断科 平戸 純子

「脳腫瘍の中央分子診断体制の構築」

国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター 先進医療研究開発部／  
日本小児分子脳腫瘍グループ（JPMNG）／日本小児がん研究グループ（JCCG）  
金村 米博

「JCOG・臨床試験における脳腫瘍中央病理診断の役割と課題」

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 成田 善孝

## シンポジウム3

### 概念・分類の変遷した脳腫瘍の病理～この40年を振り返って～

15:20～16:00 A会場（川越プリンスホテル 3F ダイヤモンド・エメラルド）

座長： 香川県厚生農業協同組合連合会 田宮 隆  
東京医科大学八王子医療センター 中央検査部 澁谷 誠

「びまん性神経膠腫における病理診断の変遷と問題点」

東京女子医科大学 脳神経外科／  
東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 先端工学外科 新田 雅之

「グレードII-III神経膠腫における、診断トレンドの変遷の検討」

慶應義塾大学医学部 脳神経外科 パレーラ エリル サンディカ

「WHO脳腫瘍分類の変遷に翻弄された稀なPhenotype：  
Gliomatosis cerebriに関する私見」

総合病院厚生中央病院 脳神経外科／東京医科大学 脳神経外科学分野 秋元 治朗

5月28日(土)

シンポジウム4A

脳腫瘍研究の cutting edge

—先端画像、実験 / 分子病理、デジタル病理—

8:30~10:00 A会場(川越プリンスホテル 3F ダイヤモンド・エメラルド)

座長: 藤田医科大学医学部 脳神経外科 廣瀬 雄一

北海道大学大学院医学研究院・医学院 病理学講座 腫瘍病理学教室 田中 伸哉

「神経膠腫の術中迅速遺伝子変異解析を目指した高速リアルタイムPCR法の確立」

名古屋大学 脳神経外科 前田 紗知

「髄液中cell-free DNAに対する増幅技術によるグリオーマ関連遺伝子解析の確立」

埼玉医科大学国際医療センター 脳神経外科 / 脳脊髄腫瘍科 安達 淳一

「メチオニン代謝、コレステロール代謝がglioma initiating cell (GIC) に及ぼす影響の解明」

宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 横上 聖貴

「BRAF変異神経膠腫耐性機序解明とHSP90を標的とした治療法の開発」

横浜市立大学 脳神経外科 立石 健祐

「外因性リボゾームは膠芽腫細胞の可塑性や幹細胞性に関与する」

北里大学医学部 脳神経外科 秀 拓一郎

「髄芽腫におけるSLFN11発現および新たな治療戦略の検討」

ジョーンズホプキンス大学 病理学部 / 群馬大学 脳神経外科 中田 聡

「髄芽腫におけるGLI3 single cell RNAシーケンス解析  
—細胞レベルから見えて来たこと—」

新潟大学脳研究所 脳神経外科 棗田 学

「脳腫瘍分子診断時代における網羅的メチル化解析の有用性と課題」

東京大学医学部 脳神経外科 矢島 寛久

「畳み込みニューラルネットワーク(CNN)を用い、MRI画像から分子異常に基づく  
脳腫瘍分類を予測する試み」

名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科 西川 知秀

## シンポジウム4B

### 脳腫瘍研究の cutting edge

—先端画像、実験 / 分子病理、デジタル病理—

11:00~11:30 A会場 (川越プリンスホテル 3F ダイヤモンド・エメラルド)

座長： 独立行政法人労働者健康安全機構中国労災病院／  
広島大学 名誉教授 栗栖 薫  
九州大学大学院医学研究院 神経病理学 岩城 徹

「限局型IDH wild-type diffuse astrocytomaの分子生物学的、臨床的特徴の検討について」

名古屋大学医学部 脳神経外科 本村 和也

「CDKN2A/2B遺伝子異常を持つIDH変異型神経膠腫の術中フローサイトメトリー (iFC) 解析」

東京女子医科大学 脳神経外科 郡山 峻一

「脳神経外科領域における術中迅速免疫組織診断の有用性」

愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経外科 井上 明宏

## シンポジウム5

### AYA 世代の脳腫瘍病理

11:30~12:00 A会場 (川越プリンスホテル 3F ダイヤモンド・エメラルド)

座長： 広島大学病院 がん化学療法科 杉山 一彦  
杏林大学医学部 病理学教室 柴原 純二

「思春期・若年成人astrocytic tumorの臨床像と遺伝子学的特徴」

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科学 米澤 大

「AYA/TYA世代の髄芽腫の病理と臨床像」

埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 鈴木 智成

「小児、AYA世代の脳腫瘍に対する網羅的メチル化解析を用いた診断の有用性と限界」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科 大谷 理浩